

泉川校区コミュニティ・スクール教育活動ガイドライン

令和2年12月1日施行
泉川校区学校運営協議会策定

1 はじめに（ガイドライン策定等の趣旨）

泉川校区では、平成19年4月、学校の荒れを契機として、学校・PTA・地域関係者が月1回集まり、学校や泉川校区の子どもたちのことについて情報共有する「地域定例会」が開催されるようになり、学校と地域の連携が始まりました。地域定例会発足から10年が経過した平成29年3月、泉川小・中学校は、「地域とともにある学校づくり」を行っていくコミュニティ・スクールになりました。そのことにより泉川小・中学校は、学校運営協議会という会議体を設置した学校となり、学校と地域が一体となって子どもたちの教育に取り組む学校となったわけです。

泉川校区では、従来より「子どもは地域の宝」を合言葉に、地域活動を実施していましたが、コミュニティ・スクールという「しくみ」をもった学校になったことで、泉川の未来を担う泉川の子どもたちが豊かに育つように学校・家庭・地域が一体となって更に学校運営や教育活動を行うようになりました。

さて、小・中学校では、文部科学省が策定した学習指導要領のもと、子どもたちに生きる力を育むことを目標に教育課程の編成・実施が行われています。その学習指導要領が改訂され、小学校では令和2年度から施行されており、中学校では、令和3年度から施行されることになっています。今回の学習指導要領の改訂には、3つの基本的なねらいがあり、その一つが「社会に開かれた教育課程を重視すること」となっています。


「社会に開かれた教育課程」とは、学校・家庭・地域が教育目標を共有し、泉川校区の人的資源を活用するなどの連携、協働しながら、新しい時代に求められている資質や能力などを泉川の子どもたちに育むことです。

そこで、改めて学校、家庭、地域それぞれの役割や担うべき教育活動を再確認し、より効果的な教育活動を実施したいと考え、本ガイドラインを学校運営協議会として策定いたしました。

2 教育活動の役割分担

泉川校区学校運営協議会では、学校には学校の、家庭には家庭の、地域には地域の担うべき教育活動があると考えています。学校、家庭、地域がそれぞれの担うべき教育活動を実施しながら、並行して学校・家庭・地域が連携・協働していく。このことこそが、未来の創り手となるために必要な資質・能力を子どもたちに育むことになると考えています。次表に示します教育活動の役割分担へのご理解、ご協力をお願いいたします。

泉川の子どもたちを学校・家庭・地域が一体になって育てていきましょう。

学校(教職員)が担う 教育活動	家庭(保護者)が担う 教育活動	地域(地域住民)が担う 教育活動
<ul style="list-style-type: none"> ◇学習指導・学習評価 ◇教育課程づくり ◇集団生活指導 ◇学校生活安全指導 ◇支援が必要な児童生徒 対応 (いじめ・不登校・ 虐待・外国人等) ◇家庭教育についての 相談・助言 ◇地域学校協働活動への 参画 ◇泉川中学校部活動方針 に基づく部活動指導 	<ul style="list-style-type: none"> ◇生活習慣の定着指導 ◇衣食住指導 ◇道徳心の育成 ◇健全育成指導 ◇スマホ・携帯・ゲーム 等のルールづくり ◇地域学校協働活動への 協力 	<ul style="list-style-type: none"> ◇学校教育活動サポート ◇家庭教育活動サポート ◇学校への助言 ◇家庭への助言 ◇健全育成支援 ◇防災教育支援
 <p style="text-align: center;">〔学校運営協議会〕</p> <p style="text-align: center;">学校・家庭・地域の連携・協働による社会に開かれた教育課程の実現のための</p> <p style="text-align: center;">学校・家庭・地域を支える応援団 及び 学校と家庭・地域とをつなぐパイプ役</p>		

3 おわりに (未来を生き抜く泉川の子どもたちの笑顔のために)

今、社会は大きく変わろうとしており、子どもたちを取り巻く環境も昭和、平成時代とも違ってきています。このような予測不可能な時代だからこそ、泉川校区の子どもたちは、未来をたくましく生き抜くための力（基礎基本の学力・思考力、判断力、表現力・豊かな心・健やかな体等）を身に付けなければなりません。

本ガイドラインの策定が、泉川小・中学校の先生方には、先生方にしかできない教育活動に、笑顔で元気に取り組んでいただくことにつながり、保護者のみなさんには、泉川地域のみなさんとの様々な関わりの中で我が子が育てられているという安心感につながり、泉川校区の地域の皆様には、授業サポートをはじめとする様々な教育活動に関わっていただくことで、校区の子どもを育てているという生きがいにつながっていく。そうしてこの「学校・家庭・地域の連携・協働による社会に開かれた教育課程の実現」が、未来を生き抜く泉川の子どもたちのますますの笑顔につながっていくことを切に願っています。